

第 64 回 定時株主総会 質疑応答（要旨）

■事前に当社ウェブサイトにてお受けしたご質問への回答

- Q1. 社外取締役の重要性が高まる中、社外取締役の活動状況を教えて欲しい。
- A1. 当社は監査等委員である取締役3名を含む4名の社外取締役を選任している。
各社外取締役は、それぞれ、企業経営・財務会計・法務・人事に関する豊富な知見を有しており、取締役会では、それぞれの専門的見地から適宜発言している。
また、業務執行責任者との定期的な面談や、社内の主要会議への参加を通じて、経営方針・業績・事業の進捗等についての理解を深めている。
さらに、地図データベース整備工程の見学や、研究開発中の新技術の説明を受けるなど、生産部門や研究開発部門の活動を把握する機会を設けている。
こうした取り組みを通じ、社外取締役による監督機能の実効性を高め、コーポレートガバナンスの強化を図っている。
- Q2. 今後、地図の需要が伸びていく中、当社はどの方面に特化していくのかを教えて欲しい。
- A2. 当社グループでは、従来の地図データの提供にとどまらず、様々な業界・分野に対して、位置情報を活用した当社ならではのトータルソリューションを提供するビジネスモデルへの転換を進めている。
こうした取り組みは、当社グループだけではなく、他の企業と協業する「企業共創」や、地域社会と連携する「地域共創」により推進していく。

■株主総会当日に会場でお受けした質問への回答

- Q1. 当社株価の現状について社長の見解を教えて欲しい。
- A1. 株価は様々な要因により形成されるため一概には言えませんが、企業の最終的な目的は、収益を上げ、株主の皆様へ還元することであると考えています。また、株主の皆様へ、当社に対する期待度を上げていただけるよう、将来に向けた長期視野での先行投資を実行しつつ、事業年度毎の収益も確保し、持続的な企業成長を目指しております。現在は、次のステージへ向かう最中でもあるため、今しばらく見守っていただき、引き続きご支援を賜りたい。

上記質問の他に、若い取締役が引っ張っていくような会社となるよう、北九州市民として応援している。という応援メッセージを1件頂戴しました。